

日本写真測量学会平成21年度年次学術講演会
プログラム

開催日時： 平成21年6月18日(木) 9時30分～16時45分
13時00分～14時00分 特別講演会演題「東京の原景観を探る～現代に蘇る江戸絵図の世界～」： 教授 清水英範 (東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻)
18時00分～ 懇親会：「横浜桜木町ワシントンホテル」
6月19日(金) 9時30分～15時45分

開催場所： パシフィコ横浜 アネックスホール (F205・F206)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1
Tel: 045-221-2155 HP: http://www.pacifico.co.jp/

第1日目 6月18日(木)

9:30-9:45

開会のあいさつ

会長 村井 俊治

F205		司会 山下 恵 (近畿測専)	
セッションA	土地利用・土地被覆		
9:45-10:00	A-1	多時期ALOS/AVNIR-2データを用いたニホンザルの生息地把握 ○望月翔太・村上拓彦(新潟大)	
10:00-10:15	A-2	Horqin砂地の1977-2007年間の土地被覆変化 ○ハスバガン(国環研)・竹内 渉(東京大)・その他1名	
10:15-10:30	A-3	離散的時系列モデルによる土地被覆変動検出 ○澤田義人(株)システムハイデント	
10:30-10:45	A-4	衛星データを用いた土地利用・土地被覆変動検知・自動アノテーションシステムの開発 ○澤田義人・岩男弘毅(産総研)・その他1名	

F206		司会 國井 洋一 (東京農業大)	
セッションE	画像分類(分類・抽出)		
9:45-10:00	E-1	PRCL(Pursuit Reinforcement guided Competitive Learning)による画像部位検索 ○新井康平・ト 憲強・○川崎聖仁(佐賀大)	
10:00-10:15	E-2	PRCL(Pursuit Reinforcement guided Competitive Learning)による避難誘導 ○新井康平・ト 憲強・○福田和幸(佐賀大)	
10:15-10:30	E-3	周期パターン領域自動抽出アルゴリズムにおける角度認識精度の改善に関する研究 ○井上洋平・丹波澄雄(弘前大)	
10:30-10:45	E-4	形状情報を用いた高分解能衛星画像からの航空機抽出 ○細村 幸(東京電機大)・松岡縁子(JR東日本(株))	

10:45-11:00

休憩

セッションB		合成開口レーダ その1		司会 鎌形 哲稔 (国際航業(株))	
11:00-11:15	B-1	多偏波SARを用いた都市部散乱特性の解析 ○岩佐省吾・須崎純一(京大)・その他1名			
11:15-11:30	B-2	TerraSAR-X画像の山間部における水平位置精度の評価 ○岡島裕樹・野中崇志(株)パスコ)・その他3名			
11:30-11:45	B-3	TerraSAR-X画像を用いた水張り田の抽出の検討 ○山根尚文・柴山卓史(株)パスコ)・その他2名			

セッションF		画像認識		司会 垣内 力 (朝日航洋(株))	
11:00-11:15	F-1	赤外ハイパースペクトル情報を用いた路上障害物認識に関する基礎的検討 ○浅野太郎・小杉幸夫(東工大)・その他4名			
11:15-11:30	F-2	QuickBird衛星画像を用いた車両の速度検出 ○リュウ ウェン・山崎文雄(千葉大)			
11:30-11:45	F-3	対象物認識ソフトウェア(TD-HRS)におけるテクスチャ解析機能の拡充 ○茂出木敏雄(大日本印刷(株))			

11:45-13:00

昼食

13:00-14:00 特別講演会 開催場所：アネックスホール F201・F202
題 名：「東京の原景観を探る～現代に蘇る江戸絵図の世界～」
講演者： 教授 清水英範 (東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻)

セッションC		森林・樹木		司会 村上 拓彦 (新潟大)	
14:15-14:30	C-1	林冠形状を反映した多角の分光反射率の推定に関する研究 ○小野祐作・梶原康司(千葉大)・その他1名			
14:30-14:45	C-2	航空機ハイパースペクトルデータによる樹種区分に関する基礎的検討 ○鎌形哲稔・今井靖晃(国際航業(株))・その他3名			
14:45-15:00	C-3	ベトナム国における森林減少・劣化地の把握 ○大野勝正・中澤明寛(アジア航測(株))・その他1名			
15:00-15:15	C-4	金沢市周辺の里山における竹林拡大状況把握手法の研究 ○宮坂 聡(中日本航空(株))・矢田 豊(石川県庁)・その他4名			
15:15-15:30	C-5	放射伝達モデルを用いたマングローブ林の短波長赤外バンド反射特性の解析 ○田村正行(京大)・小林秀樹(地球環境フロンティア研究センター)			

セッションG		レーザ計測		司会 中野 一也 (朝日航洋(株))	
14:15-14:30	G-1	レーザ距離計による地すべりモニタリング ○新井康平・○川崎聖仁(佐賀大)			
14:30-14:45	G-2	航空レーザ測量で把握可能なかなん流し関連の地形と植生 ○小荒井衛(国土地理院)・長澤良太(鳥取大)・その他4名			
14:45-15:00	G-3	LIDARを用いた森林の植生構造把握の試み ○范 海生・後藤真太郎(立正大)・その他2名			
15:00-15:15	G-4	航空機ライダーによる樹冠構造把握 ○加藤 顕・小林達明(千葉大)・その他2名			
15:15-15:30	G-5	現生人類の産屋である洞窟-南アフリカ共和国クラシーズ河口洞窟第3号内部のレーザ-三次元測量- ○得丸公明(自然思想家)			

15:30-15:45

休憩

セッションD		モデリング・検証		司会 大吉 慶 (京大)	
15:45-16:00	D-1	黄砂長距離輸送シミュレーションによる発生源と発生量の推定と輸送アニメーション ○河野貴史・奥田 歩(金工大)・その他1名			
16:00-16:15	D-2	デジタルカメラを用いた大気混濁度推定 ○森山雅雄・久田賢二郎(長崎大)			
16:15-16:30	D-3	佐賀テストサイトにおけるASTER/VNIRの代替校正 ○新井康平・東 健太(佐賀大)			
16:30-16:45	D-4	NOAA-14/AVHRRの較正係数の違いによるNDVI値の差異特徴 ○丹波澄雄・福田圭介(弘前大)			

セッションH		地殻変動・考古学		司会 高木方隆 (高知科大)	
15:45-16:00	H-1	被害地震地域の地殻変動と地震応力場 ○荒木春視(環境地質研)・村井俊治(日本測量協会)			
16:00-16:15	H-2	南関東地域の面積変動と地震活動 ○荒木春視(環境地質研)・村井俊治(日本測量協会)			
16:15-16:30	H-3	マンデル対流説・プレートテクトニクス理論に代わる Gondwana ランドの分裂・移動の仮説-1億4500万年前のモロケン巨大隕石衝突 ○得丸公明(自然思想家)			
16:30-16:45	H-4	ナスカの地上絵と地下水流の関係 ○小川 進(京大)・高久克也(横国大)・その他1名			

18:00-20:00 懇親会：「横浜桜木町ワシントンホテル」
会費：5,000円 Tel: 045-683-3111

第2日目 6月19日(金)

F205		
セッションI	衛星画像	司会 赤塚 慎 (東京大)
9:30-9:45	I-1	地名辞典のグラウンド・トゥールズとしての利用可能性の検証 ○宮崎浩之(東京大)・岩男弘毅(産総研)・その他1名
9:45-10:00	I-2	ネパール西部の斜面におけるPRISM画像とCartosat-1画像の判読性の比較 ○佐藤 浩(国土地理院)・八木浩司(山形大)
10:00-10:15	I-3	ALOSデータによる河川環境調査について ○高橋佳昭(RESTEC)
10:15-10:30	I-4	静止気象衛星MTSATを用いた晴天画像検索システムの構築 ○山田洋平・大吉 慶(京都大)・その他1名

F206		
セッションM	データベース・GIS	司会 井上 亮 (東京大)
9:30-9:45	M-1	高分解能衛星画像のための基準点データベースの構築 ○小島光博・高木方隆(高知工科大)
9:45-10:00	M-2	GISによる出石周辺の洪水記録の作成 ○中尾幸一(神戸高専)・岸本昭人(大阪ガス(株))
10:00-10:15	M-3	データ相互流通のためのデータモデルレジストリーの開発 ○長井正彦・小野雅史(東京大)・その他1名
10:15-10:30	M-4	映像DBによるマップ表現および障害物回避を伴う安全走行制御 新井康平・○福田和幸(佐賀大)

10:30-10:45

休憩

セッションJ		
植生・農業	司会 今井 靖晃 (国際航業(株))	
10:45-11:00	J-1	植生の水ストレス傾向を検出するための手法開発V ○小野朗子(JAXA EORC)・梶原康司(千葉大)・その他1名
11:00-11:15	J-2	簡易型樹木水分ストレス計の試作開発 ○兵頭竜二(長崎県工業技術センター)
11:15-11:30	J-3	異なる太陽条件で計測した水稲の分光反射係数に関する研究 ○洲濱智幸・鈴木恵一(株)パスコ)・その他1名
11:30-11:45	J-4	ハイパースペクトルデータによる牧草地の生産性評価の試み ○中澤明寛(アジア航測(株))・河合雅己(ERSDAC)・その他3名

セッションN		
ALOS/PRISM	司会 坂元 光輝 (アジア航測(株))	
10:45-11:00	N-1	ALOS PRISM画像を用いた三方向視による三次元計測の精度 ○石田圭佑・高木方隆(高知工科大)
11:00-11:15	N-2	ALOS/PRISMによる遠隔地シーン標定手法の検討 ○佐藤壮紀・南 秀和(国土地理院)・その他1名
11:15-11:30	N-3	ALOS/PRISM画像を用いた中国四川大地震崩壊地地形解析 ○内田 修(アジア航測(株))・千木良雅弘(京都大)
11:30-11:45	N-4	ALOSデータを用いた四川大地震による斜面崩壊箇所の把握 ○村上拓彦・権田 豊(新潟大)・その他1名

11:45-13:00

昼食

セッションK		
熱画像	司会 野中 崇志 ((株)パスコ)	
13:00-13:15	K-1	入力放射率の誤差によるMODIS地表面温度推定精度への影響と土地被覆変化との関係 ○松井 隆・森山雅雄(長崎大)
13:15-13:30	K-2	静止気象衛星MTSATによる高時間分解能での地表面温度観測 ○大吉 慶(京都大)・竹内 渉(東京大)・その他1名
13:30-13:45	K-3	地表面熱アドミタンスと環境因子との関連性 ○谷川 聡・森山雅雄(長崎大)・他2名
13:45-14:00	K-4	空撮熱赤外画像を用いた市街地の詳細な温度分布把握 村越彩奈・○山崎文雄(千葉大)
14:00-14:15	K-5	極軌道衛星データを用いた地表面熱特性推定 ○森山雅雄・谷川 聡(長崎大)・他2名

セッションO		
画像計測(地形・地物)	司会 中川 雅史 (芝浦工大)	
13:00-13:15	O-1	航空写真を用いた放牧草地における土壌侵食および地形変化の把握 ○鈴木公人・嶋 栄吉(北里大)・その他3名
13:15-13:30	O-2	岩手・宮城内陸地震における地表変位の写真計測 ○神谷 泉・小荒井衛(国土地理院)・その他4名
13:30-13:45	O-3	WorldView-1衛星画像から作成したDSM及びオルソ画像の精度検証 ○鈴木伴英(日立ソフト(株))
13:45-14:00	O-4	写真測量技術を使った大規模造成宅地の地盤脆弱性評価 ○小荒井衛(国土地理院)・中笠貴元(国土地理院)・その他3名
14:00-14:15	O-5	DM等のもつ水平位置誤差の特性について ○嶋田忠男(東大CSIS協力研究員/(株)パスコ)

14:15-14:30

休憩

セッションL		
合成開口レーダ その2	司会 未定	
14:30-14:45	L-1	Sahebi-modelを用いたALOS/PALSARによる土壌水分の推定 ○菌部 礼(株)パスコ)・谷 宏(北海道大)
14:45-15:00	L-2	ALOS/PALSAR画像を使用した海水密度算出手法 ○上村治睦(JAXA)・小野修史(ISTS)・その他3名
15:00-15:15	L-3	ALOS-PALSARによる斜面崩壊の把握手法についてー平成20年岩手・宮城内陸地震災害を事例にしてー ○清水孝一・小山内信智(国総研)・その他3名
15:15-15:30	L-4	SARモザイクデータセットの地形効果補正の評価 ○赤塚 慎・竹内 渉(東京大)・その他2名

セッションP		
計測技術	司会 長井 正彦 (東京大)	
14:30-14:45	P-1	3次元計測精度向上のための注視観測によるLarge-scale stereo ○中川雅史(芝浦工大)・河井良浩(産総研)・その他1名
14:45-15:00	P-2	加速度センサによる歩行計測診断と栄養・体組成・運動量との関係 ○鶴岡政子・柴崎亮介(東京大)・その他1名
15:00-15:15	P-3	車載単一カメラによるステレオ視による振動の影響評価 ○新井康平・山本修平(佐賀大)
15:15-15:30	P-4	ラインレーザと全方位撮影写真による立木の3次元計測 ○小野 徹((株)ズームスケープ)

15:30-15:45

閉会のあいさつ

副会長